

第 32 回技術倫理協議会議事録

日 時：2010 年 8 月 30 日（月） 17 時 30 分～19 時 45 分

場 所：建築会館 3 階 307 号会議室

出席者：（順不同、敬称略）：

議 長：池田 駿介（工学会）、幹 事：札幌 順（日工協）、櫛田 晴美（技術士会）

委 員：高橋 信之・増田 幸宏（建築）、伊藤 卓・後藤 達乎（化学）、
大輪 武司・堤 正臣（機械）、滝澤 照廣（電気）、小松 尚久（情報通信）、
平野 琢（原子力）、宅間 正夫（工学アカデミー）

事務局：四戸 靖郷（工学会）

配布資料：

資料 32-1：第 31 回技術倫理協議会議事録（案）

資料 32-2：2010 年シンポジウム企画最新案配布資料：

資料 32-3：技術倫理協議会委員名簿（2010. 8.30 版）

議 事：

1. 前回議事録確認

訂正された前回議事録案が確認された。

2. 2010 年シンポジウム企画

日程・会場が、11 月 27 日(土)化学会館と決まり、7 月 15 日の前回幹事会での検討を反映した、事務局作成の企画案をもとに、その後の講師折衝の結果やプログラムの詳細について具体的な検討が行われた。

- ・開会あいさつを池田議長が行うので、開会時間を 9 時 50 分とした。
- ・NHK の村松氏には基調講演として、プログラムの最初に入れる。
- ・大学の事例を 2 題、札幌幹事の金沢工業大学と東京大学又は東北大学を当てる。
- ・海外事例として、シンガポールの国際会議の報告を浅島誠先生に依頼する。
- ・海外事例のもう 1 つを韓国の工学会の取り組みを、札幌幹事に当たっていただく。
- ・公的研究所の事例として、理化学研究所に伊藤先生から当たっていただく。
- ・企業の事例については、企業方針によるもので、自由な研究はなく、「研究倫理」には向かないので、除外した。

以上の状況を反映した初期のベースとなるプログラム案(企画案)を作成し、添付する。

なお、10 月 1 日までに講師等すべて確定し、工学会HPに掲載する。予稿原稿は 11 月 12 日までに A-4 数ページを事務局に提出し、事務局は配布用資料集を作成する。

3. 各会員からの報告

1) 電気学会（滝澤 照廣）

- ① 「技術者倫理事例集」を電気学会倫理委員会と委員長名で出版した。（オーム社発行）
- ② 電気学会は、「会員の不正行為の調査・審理に関する規定」を理事会承認した。
- ③ ②に関連して、「電気学会倫理問題発生時の声明発表に関する手引き」も定めた。

④「第3回 技術者倫理研修会」を実施、非会員も含め各層の参加者にて活発に議論した。

2) 日本建築学会 (増田 幸宏)

- ・倫理事例の分析を通じた独自の e ラーニング教材の作成について検討を進めている。(科学技術振興機構の予算等にも応募をしている。)
- ・シンポジウム「倫理教育プログラム開発のためのガイドブック」を開催する。今回のシンポジウムでは、特に建築系学生に向けた大学における倫理教育と教員の倫理研修に焦点を当て、「ガイドブック」の解説・意見交換を行う。

3) 日本機械学会 (堤 正臣)

- ① 会員の不正行為による会員処分に関する規則の検討を始めた。それは、論文投稿の不正による会員処分と、会員の不正行為による会員処分の整合をとるためである。
- ② 9月7日 2010年度年次大会(名古屋工業大学)でワークショップ「異分野連携で問われる技術倫理」を開催する。
- ③ 次回、倫理委員会を10月に開催予定である。このとき、8月24日に開かれた電気学会主催の技術倫理研修会は有意義であったので、機械学会でも同様の取り組みをしたい旨の発言をしました。

4) 土木学会 (皆川 勝)

技術推進機構から事例を中心とした書籍「土木技術者倫理問題—事例を中心に考える II」を出版するとともに、これをテキストとした講習会を6月15日(火)に開催した。また、2009年に制定した「土木技術者の倫理規定」の見直しの議論をスタートする。

5) 日本工学アカデミー (宅間 正夫)

10月か11月に、工学アカデミーの談話サロンで「技術者の誓い」案やアカデミーにおける倫理への取り組みなどについて会員相互の議論を予定

6) 日本原子力学会 (平野 琢)

継続して2カ月に1度の頻度で倫理委員会を開催している。

最近の主要な活動は、①ケースブック Vol.3 の編集(学会秋の大会に合わせ、9月出版の予定)。②第13回倫理研究会の開催(7月20日)。③点検不備問題による中国電力への対応(ヒアリングを含む)。④学会秋の大会における特別セッションの準備。⑤第14回倫理研究会の開催準備(11月を予定)である。

7) 日本化学会 (伊藤 卓)

学会内の財政状況ならびに公益社団法人への移行手続きなどに関わる理由から、倫理委員会の活動は現在は実質、休眠状態にある。そのために特に報告すべき事項はない。

8) 日本技術士会 (水野 正勝)

技術士倫理要綱の改定案を作成し、8月中旬会員に公開した。会員から意見を募集すると同時に、全国の支部に説明を始めている。期間は11月初旬までとし、これを踏まえて修正案の作成を年内に行う計画である。

次回は、11月12日(金)17時30分から開催することとし、会場が確定してのち、改めて案内する。

以上